

2013年10月17日発行

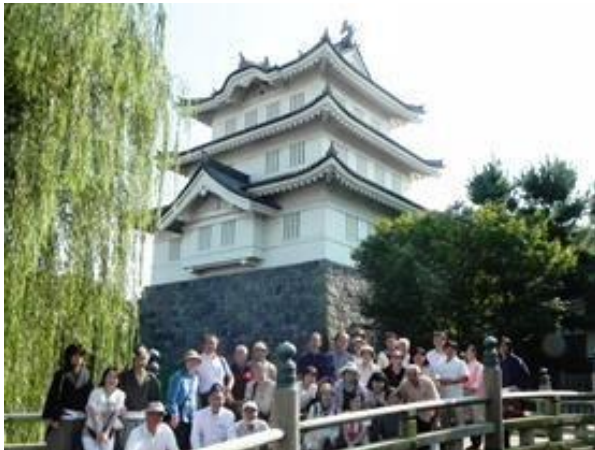
エコ・リサ通信

第 84 号

特定非営利活動法人 埼玉エコ・リサイクル連絡会広報

第20回エコ・リサ研修見学会報告

8月29日(木)に環境活動と地域活性化の最新情報収集を目的とし、県内4か所の見学と、もりだくさんで行いました。



のぼうの城前でエコ・リサ研修見学会参加者全員集合

報告者：土淵 昭

今回の参加者は28名で見学先は、午前中に今年新しくリサイクルプラザが出来た蓮田・白岡衛生組合、続いて古布の再利用を進めているキムラセンイ(株)の加須工場、午後から行田の浄水場にあるメガソーラー、最後はお楽しみの忍城跡がある行田市郷土博物館の4か所で、見学箇所が多く駆け足で充実した見学会だった。

1. 蓮田・白岡衛生組合のリサイクルプラザ

＊ 蓮田・白岡衛生組合環境センターの中にあるリサイクルプラザ(愛称 エコプラザ)は平成25年4月5日(金)に開館し、出来立てのホヤホヤのところを見学した。

＊ 建物は2階建てで一階は再生家具、楽器

等が展示され、1カ月に1回の頻度で抽選に当たった住民に販売しており、ほかに小さな本棚があって貸し出す制度になっている。現在はまだ衣類や食器、雑貨などは扱っていないが、将来はそれらも扱いたいとのこと。

＊ 2階は会議室が1室、研修室が2室あって、3R活動やエコ活動を目的とした会議や研修のために安い費用で貸し出している。

＊ 建物の床や階段はガラスカレットを有効利用した美しい模様があっておしゃれです。

＊ 建物の外側には緑のカーテンやウイスキー樽を利用した雨水溜めがあって、植物の水やりなどに利用しており、また、室内には薪ストーブがあってエコを心がけている。

＊ 環境センターでは、ごみの分別手引き(50音別)の22ページにわたる冊子を住民に配布していて、とても懇切丁寧でよいな、と思った。また、「環境センターだより」の2月号と6月号を頂いたが、4カ月に1回発行しているのも感心した。

＊ なお、ごみ収集としての持ち込みは有料だが、リサイクルステーションへの持ち込みは無料、とのことだったが、どんなものがごみ扱いとなり、何がリサイクル品として扱われるかは聞き漏らした。

2. キムラセンイ(株)

＊ バスの中で参加者の自己紹介をした時

に、古布業界の方から古布のリサイクル率は 10%程度しかないので、是非皆様に回収の PR していただきたい、と言う話があった。

＊ キムラセンイの工場敷地内に入った時、回収した布団が積んであったのを見た。私が住んでいる狭山市では、布団は粗大ごみで出すことになっているので、近くの従業員の方に尋ねたところ、布団はものにより回収する、とのことだった。

＊ 初めに木村秀之社長のご挨拶があり、続いて説明者より会社概要を説明していただいた。

＊ キムラセンイは加須の本社工場の他に騎西工場、加須インター工場、伊奈ストックセンターがあり、国外にはマレーシアに工場があるとのこと。その他に埼玉県内 7 か所に古着を扱う店舗がある。

＊ 従業員は 100 名とのもので、安全衛生教育も行き届いていて、皆さん活き活きとして楽しそうに仕事をしている様子が見え、人を大切にする良い会社だと感じた。

＊ 古布の利用先はウエスが 15～20%、反毛と言ってほぐして糸状にするのが 20～25%、古着をそのまま再利用するのが約半分で、その内マレーシア工場に送るのが 95～97%、国内では 3～5%利用されている。マレーシア工場ですらに選別して、韓国、ベトナム、フィリピン等に再輸出されている。

＊ 分別はきわめて多種多様に分類されていたが、古着としてそのまま使うものが多いので、家庭から出る衣類はボタンなどを外さないでそのまま出してほしい。とのことだった。

＊ 私の昔なじみの木村誠会長にお会いし

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

たので、古布のリサイクル率を聞いてみたら、埼玉県は 30%程度あるが、人口の少ない地域ではゼロの村もある。とのことだった。

工場を見学してみて、行政も含めて市民が「どんな古布なら再利用可能なのか」がよく解らないのが回収率の低い原因で、古布業界としてもっと分別基準を PR することが必要なのではないかと感じた。(エコ・リサの皆さんは分別基準をご存じですか?)

3. 行田浄水場のメガソーラー

＊ 行田浄水場は利根川を水源とし、県内の 24 市町に水道水を供給していて、広い面積の浄水(飲料水)池(厚いコンクリートで蓋をしてあって芝生が貼ってある)の上を有効活用して、発電容量 1,200kw の太陽光パネルを平成 23 年に設置した。

＊ パネルは南向き 25 度の傾斜角で最も発電効率が良いように設置し、年間予測発電量は 137 万 kw とのことであるが、発電した電力は浄水場内部ですべて使用するとのこと。

＊ 年間の二酸化炭素削減量は 530 トン、ブナ林換算で 93ha 相当とのことだった。

4. 行田市郷土博物館

＊ 忍城跡の門前で槍(と見立てた棒)を使った演武に歓迎され、そのあと忍城跡を見たが、昔は広大な沼地の中にある僅かな高地を利用した城で難攻不落の様子がうかがえた。

＊ 行田市は埼玉古墳群など古代から開かれ、鎌倉、室町、等歴史が古く大正時代には足袋の生産が盛んだったようだが、今は水田と住宅地が多いのどかな街でした。

おわり

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝



税理士法人 T&M ソリューション

毎月第 2 水曜日は「税の無料相談日」 お気軽にお問い合わせください！

お問合せ ☎ 03-5829-9664 E-mail info@tms.or.jp

繊維リサイクル工場を見学して

報告者：筑波大学附属小学校教諭 勝田映子

事務局の宮田さんのお誘いで、エコ・リサ夏の研修見学会に初めて参加させていただいた。私は小学校で家庭科を教えている。「回収された衣類は、どうリサイクルされるのか」。この目で見て、子どもに伝えたい。胸は期待でいっぱいだった。

見学先は、キムラセンイ（株）の加須工場である。到着するやいなや倉庫に山と積まれた衣類が目に入る。笑顔で出迎えて下さった会社の方のご案内で工場内へ。入口で気持ちの良い挨拶と共にスリッパとマスクとを渡していただく。会社の皆さんの細かい心遣いを有り難く思う。

工場内は広々として明るい。衣類が次々とベルトコンベアーで送られてくる。



それを選別し、梱包し、出荷するのが、この工場の仕事である。

コンベアで送られてくる衣類は、一つ一つの手によって3つに分けられる。中古衣類市場に出す物、ウェス（機械メンテナンス用雑巾）の原料そして

反毛原料。中古衣料は、さらに国内用と東南アジア用に分けられ、さらに性別やアイテム別に約110品目にも分けられる。それらは全て、国内または東南アジアの系列の中古衣料店舗で販売されるという。

衣類を仕分けている方の手さばきは実に鮮やかだ。留め袖から子ども服まで一瞬のうちに質を見極めて、手元のカゴに仕分けていく。手が止まることがない。

そのプロの目の凄さには驚愕した。

こうして仕分けられた衣類の山は、機械で圧縮される。100kgの包みに圧縮された巨大な衣類の束は、工場内でコンテナに積まれ、トラックで出荷されていく。

会社の方の説明によれば、国内はもとより海外、特にマレーシアでの事業展開が好調だという。現地の様子を映像で見せていただいたが、衣類が整然と陳列された明るく清潔感のある店舗と、従業員の皆さんの元気な笑顔が印象的だった。



この工場では、衣類の他にふとんのリサイクルも行われていた。ふとんは、綿、糸、布地の3つに分けられる。綿は、さらに羊毛、化繊綿、木綿綿に分けられ、ぬいぐるみの中綿や

車の内装等の原料に変わる。また、糸は軍手に、布地は縫製品材料となる。何と素晴らしいことだろう。粗大ごみワースト1と言われるふとんをこのようによみがえらせている会社があるのだ。まだまだ日本も捨てたものではない。大変明るい気持ちになった。

今回は繊維リサイクル協会の皆様も同行され、解説をしてくださった。皆様の事業が発展されるよう、物を大切にする事の重要性や、再生品を買い支えるなど消費者としての責任を子どもたちにしっかり伝えていきたいと思う。このような素晴らしい研修会をご準備下さった関係者の皆様に心から御礼申し上げます。



読売旅行

読売旅行「あなたの街から」いい旅 いつも これからも

さいたま営業所 ☎048-640-4343

FAX 048-644-7674

平成25年度通常総会記念講演会 報告 その2

～25年5月16日 テーマ「我が家のエコ・健康生活は」講師：土淵 昭～

1. 冬の過ごし方

(1) 室温のコントロール

何と言ってもまず厚着です。暖房は石油ストーブが1台で居間に温度計があって、13℃以下になるとストーブを点け、18℃になると切ってしまいます。窓は真空ペアガラスになっていますので、多少は効果があるのかな、と思っています。天気の良い日はカーテンを開けて窓越しに日光を取り入れます。

湯殿やトイレの小窓にはプチプチシートを張り付けておきます。なお、玄関ドアは鉄製のため、外からの冷気が入りやすくなりますので、夜はプチプチシートを下します。

我が家は5階建てマンションの4階に住んでいる関係で、3階と5階の家で暖房をするので、真冬の朝でも10℃より下がらない為、暖房費は安く済んでいるのではないかと考えています。

(1) 夕方から夜の過ごし方

夕食の時から就寝までは居間で電気こたつに入って過ごすことが多いです。こたつの下には薄いこたつ用の布団を敷いて熱が床下に逃げないようにします。また、使用時は弱にしています。その際、居間に近い台所に石油ストーブはつけています。

夕方になると窓には厚手のカーテンを床まで下ろします。(少し引きずるくらいの長さが必要です)カーテンは床まで下ろさないと目隠しにはなっても保温効果がありません。床にカーテンが届いていないと、カーテンと窓ガラスの間の空気が冷え、冷たい空気は重いので下に降りてカーテンと床の間からスースーと冷気が出てきます。窓とカーテンの間の重い空気が下に降りるとその場所が陰圧になりますから、カーテンレールの上部から天井付近の空気が入って

来て、窓で冷やされて下に降りる。という流れが出来ます。まるで隙間風が入ってくるのではないか、と思うくらいです。

カーテンが床まで降りていれば冷えた空気はそこで止まります。なお、カーテンレールの上側は空いていてもかまいません。

冷たい、重い空気はカーテンレールの上の方に登って行くことはありません。カーテンの横側はなるべく塞ぐ工夫をしてください。

ストーブにはいつもヤカンをかけておいて、就寝時はそのお湯を湯たんぽに入れて使います。

湯たんぽの残り湯は翌朝の洗顔・髭剃りなどに使います。なお、就寝前にヤカンのお湯はポットに入れておくと、翌朝お茶を淹れるのにちょうどよい温度になっています。

(3) 空調機についてちょっと一言

我が家には空調機はないのですが、壁掛けの空調機から温風を噴出させて暖房にされている方もおられるかと思いますので、ちょっと一言。

壁掛け空調機から吹き出す温風は下向きに噴出しても温風は軽いので床まで届かずに天井のほうに上って行きますので、天井の方は25℃、中間は20℃、床面は15℃と言うような具合で、足元が寒くスウスウする感じになりませんか？ その場合には、部屋の隅の床面に小さな扇風機を上向きに寝かせて風を上を吹かすと下の冷気が上に上り、部屋の空気が循環して部屋全体が暖かくなり、空調のエネルギーが40%節約できる。と言われています。

我が家では床に石油ストーブを置いているので、上昇気流が働いて部屋の空気が循環し、上下の温度差がほとんどありません。

【その3はエコ・リサ通信No.85へ続く 尚、ホームページには全文記載されています。】

乾燥野菜くず等の堆肥材料を集めて
野菜づくりをしています！

報告者：園田真見子(資源循環委員会・志政フォーラム)

ごみを知ろう委員会の「燃えるごみを乾ベースではなく、湿ベースでみると、埼玉県各市町村の平均で生ごみと枝・落葉等が53%ほどになる」という知見を、今年7月に他市の知人に話したら、はじめて知ったということでした。まだまだ環境に関心ある人の共通認識にはなっていないようです。

志木市では、1 昨年の秋ごろから、志政フォーラムのメンバーの中で、特に関心ある人たちが、「野菜くずを乾かす」という試みをはじめました。そして、動物質のものと糖分の多い果物を避けると、虫と臭いの問題がクリアできることに気が付きました。そこで、ノウハウを書いた説明チラシをつくり、所属するサークルや、近所の関心ありそうな人に提供をよびかけました。乾燥野菜くずは、カサも小さく、家庭で1ヶ月以上保管できます。わざわざ集めなくても、会合の時や、共同購入のときに渡すことが可能なため、10名ほどが、今のところ順調に続き、じょじょに増えています。集めた野菜くずとガーデニング残渣類は、私の家の2基のコンポスターと、昨年度から参加し始めた、市内の後継者クラブの「体験型市民農園」の一角で「なんでも回収ネット」に入れて、堆肥化、共同で野菜作りをし「地域循環」を実践しています。また、野菜づくりが、さまざまな良い波及効果をもたらしています。

☆ホームページをごらんください。

「志木市 志政フォーラム」で検索 トップ→
「生ごみ落葉などの循環でまちづくり」
<http://shiseifshiki.jimdo.com/>

☆「体験型市民農園」とは、練馬区でかなり前から実績が積み重ねられた指導付の貸農園で、「食・農・地産地消」に関心が集まる今、都市農業の一つのあり方として、各地で急速に広がっています。県も後押ししているそうです。

《関連おすすめ図書》

「里山資本主義」

藻谷浩介 NHK広島取材班 地味な存在
の中国山地に里山資本主義を实践する若者が
ぞうぞく起業 瀬戸内海の島々にも
角川書店 781 円＋税

*藻谷浩介著「デフレの正体」

(角川書店 760 円) もぜひ。

「自然菜園」

竹内功著 農山漁村文化協会 1700 円＋税
耕さず、草を生やして共育ち 自然に育つ植
物の成長を手助けする・・・という発想で
の野菜作り実践のためのコツ・ノウハウ

「微生物パワー とことん活用読本」

農山漁村文化協会 1200 円＋税
乳酸菌・納豆菌と酵母利用の「えひめA I」を
はじめさまざまな微生物の働きを利用して、作
物を丈夫に育てる実践例とノウハウ

[illegible]

司法書士竹内啓修事務所

お問合せ ☎ 048-963-6055 不動産・商業登記全般



街を遊ぶ！食べる！極める！ www.townnavi.info/saitama

【埼玉県環境部資源循環推進課コーナー】

10月 は 3R 推進月間です。埼玉県でも様々な普及啓発キャンペーンを実施しました。イベントを楽しみながら 3R についても知っていただくために、6日には埼玉サイクリングフェスティバル（熊谷スポーツ文化公園）において、13日には埼玉 B 級ご当地グルメ王決定戦 in 飯能において、来場された方々にアンケート調査やパネル展示などを行いました。

➤ 3R の認知度

埼玉サイクリングフェスティバルでは、例年 3R に関するアンケート調査を実施しています。昨年度の調査では、知っていた人が 28.7%、聞いたことはあるが意味がわからなかった人が 14.1%、知らなかった人が

57.2%でしたが、今年度の調査でもそれぞれ 26.4%、17.1%、56.5%と前年度とほぼ同様の結果となりました。3R の認知度は、まだまだ低いようです。

➤ 九都県市廃棄物問題検討委員会での取組

九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）では、10月の 3R 推進月間に、小売事業者、製造業者、外食事業者などと連携し、域内にお住まいの方を対象に、日常生活の場であるスーパーマーケットやファミリーレストランの店頭において 3R の普及啓発を図るキャンペーンを実施しました。



『容器&包装ダイエツキャンペーン』は、日常の買い物でお馴染みのスーパーマーケットなどで、容器包装減量化商品を POP でご案内し、できる限り容器包装ごみの少ない商品を選んでいただくことでごみを減らそうというキャンペーンです。お買い物では、マイバッグはもちろんのこと、できるだけごみが出ないような商品を選ぶように心掛けたいですね。各企業の容器包装減量化の取組は、「容器&包装ダイエツ宣言」のホームページで紹介しています。



『食べきりげんまんプロジェクト』では、日本全体で年間約 500 万～800 万トンもの食品ロス（まだ食べられるのに捨てられている食べ物）が発生している現状を知っていただくとともに、食品ロス削減のための具体的な取組を提案しました。「スマイルフォトコンテスト」では、外食事業者と連携し、店舗で食品ロス削減の周知の上、食べきり笑顔の写真を募集しました。また、「完食に乾杯！キャンペーン」では居酒屋チェーン店と連携し、食べきりの呼び掛けとインセンティブの付与による食べ残し削減効果を検証しました。

詳しい内容は、九都県市リサイクルスクエアホームページをご覧ください。

特定非営利活動法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 環境学習会

ごみの奥深い“お・は・な・し”!

塵も積もれば山とも言いますが、私たちのごみがどの位の山になっているか考えたことはありますか？
燃やしてしまえば見えなくなってしまう様ですが、分ければ資源になります。

ごみについて一緒に考えてみませんか？ どうぞご参加ください。

日時・2013年12月4日(水) 午後1:30~4:30 (受付1:15~)

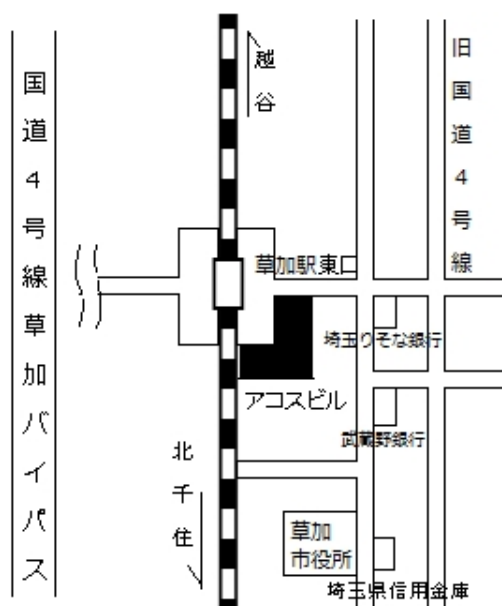
会場・草加アコスホール南館6階 会議室A・B (定員35名)

(草加市高砂2-7-1) 048-922-7005

会場案内：東武スカイツリーライン草加駅東口(徒歩1分)

プログラム

- ① “数字が語るごみの話”
講師：中澤啓子さん(エコ・リサ理事)
- ② “ごみも減らせばゼロになる?!”
講師：上領園子さん(エコ・リサ理事、
環境カウンセラー、埼玉県環境アドバイザー)
- ③ 意見交換



資料代・会員 300 円 非会員 500 円

＜申込み方法＞エコ・リサホームページ

<http://www.townnavi.info/eco-risa/index.html>

＜申込み締め切り＞平成25年11月25日(月)

※定員オーバー等でお断りする場合以外、こちらからご連絡はいたしません。

(詳細は同封のチラシをご覧ください)

※エコ・リサ会員の方にエコ・リサ通信の今後の配信方法についてのお願い※
事務作業、省コストの点からmail配信への移行をすすめております。
メール配信希望の方はホームページお問い合わせから「エコ・リサ通信mail配信希望」として氏名・アドレスの連絡をお願いします。

編集後記：今回の研修見学会で古繊維について認識を新たにしました。こんなにリユースが進んでいたなんてびっくりです！きれいな状態で回収に出せば、再び利用されるのです。みなさんもぜひこの事実を知って、眠っている服をリユースしましょう～！さて、その方法は？エコ・リサ交流集会に来ればわかる！ 轟 涼